

旅は続く。

「絲綢之路天空」(版画) 1997年

版画・水彩画による

平山郁夫

～シルクロードと奥の細道～

2022 7/16^土 - 8/28^日

開館時間 | 9:00～17:00(最終入館は16:30まで) 休館日 | 会期中無休

観覧料 | 一般: 900円(800円)、高校生: 450円(400円)、中学生以下: 無料 ()内は20名以上の団体料金

※大学生・専門学生は一般料金となります。※障がい者手帳をお持ちの方、およびその介助者1名の観覧料は、半額となります。

※お得な年間券は、3,300円で3名様まで1年間何度でもご利用できます。

主催 / 公益財団法人さかた文化財団 酒田市美術館 共催 / 酒田市、酒田市教育委員会

企画協力 / 公益財団法人平山郁夫美術館

 **Sakata City Museum of Art**
酒田市美術館

〒998-0055 山形県酒田市飯森山三丁目17-95
TEL 0234-31-0095 FAX 0234-31-0094
URL <http://www.sakata-art-museum.jp>



版画・水彩画による

平山 郁夫

～シルクロードと奥の細道～

平山郁夫(1930—2009)は、仏教東漸の道と日本文化の源流を求めてシルクロードを百数十回にわたって旅をしました。平山氏が描くラクダのキャラバンは、平和な交易のシンボルとして、文化や宗教を伝えてきた存在として、平和の祈りの象徴でもあります。一方、歴史遺産が戦乱などによって破壊されていく姿を目の当たりにした平山氏は文化財保護活動を生涯にわたって続けました。

本展覧会は、平山郁夫がライフワークとして描いたシルクロードの世界を工房が制作した版画によって紹介します。

また松尾芭蕉の「奥の細道」をたどる旅で制作した水彩画を、芭蕉の俳句と併せて紹介します。



①



②



③



④

- ①「皓月ブルーモスク イスタンブール」(版画) 1999年
- ②「敦煌莫高窟」(版画) 1992年
- ③「アフガニスタンの少女」(版画) 2005年
- ④「アンコールワットの遺跡 夕陽」(版画) 1999年

ギャラリートーク

平山郁夫美術館 学芸員 幸野昌賢氏

7月16日(土) 10:30～/14:00～

当館学芸員

7月24日(日) 10:30～/14:00～

8月7日(日) 14:00～

- ◎申込み: 不要 ◎場所: 展示室内
- ◎参加費: 無料 ※但し、要観覧券または年間券



松島 「明けゆく松島」 1991年

夏草や
兵どもが夢の跡



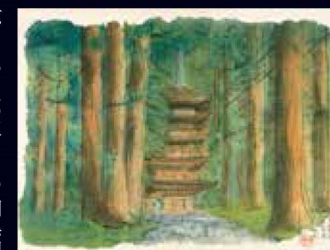
平泉 「北上川と東福山を高館義経堂から望む」 2000年

閑かさや
岩にしみ入る
蟬の声



立石寺 「立石寺の山 山寺」 1997年

涼しさや
ほの三日月の
羽黒山



羽黒山 「羽黒山神社 五重塔」 1997年



〒998-0055 山形県酒田市飯森山三丁目17-95
TEL 0234-31-0095 FAX 0234-31-0094
URL <http://www.sakata-art-museum.jp>



【お願い】 ご来館の際は、マスクの着用、手指の消毒、他の来館者との適切な距離の確保にご協力ください。また、状況により展覧会の内容の変更、および入場制限を行う場合がございます。最新情報は酒田市美術館ホームページ、または Facebook でご確認ください。

【交通のご案内】

- ◆JR東日本酒田駅/乗合バス20分・タクシー10分
- ◆庄内空港/タクシー20分
- ◆日本海東北自動車道酒田ICより6分
- ◎駐車場/無料駐車場有(120台収容)

